

レンジフードファン用システム部材

キッチンフード

形名
P-60H2

据付・取扱説明書

販売店・工事店・お客様用

このキッチンフードは、調理によって発生する油煙などを拡散させることなく捕集効率を上げるために使用するものです。

■据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

- キッチンフード内に換気扇を取付ける場合は、メタルコンパック換気扇（金属製換気扇）を必ずご使用ください。
- 本製品は住宅の台所用です。業務用途では使用できません。
- 本製品の据付けにあたっては地域により防災上での制限（内装材の制限、補強板・枠の材質の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用の制限、防火ダンパーの設置など）がありますので、詳細は行政官庁または消防署にご相談ください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。





なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

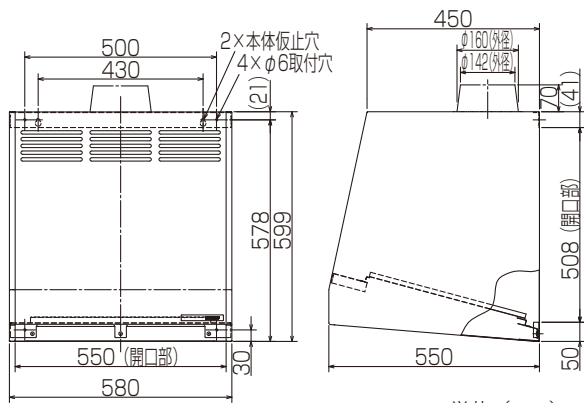
安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない (火災・感電・けがの原因になります)
 接触禁止	●調理中や調理直後は本体に触れない (本体が高温になり、やけどの原因になります)
 禁止	●お手入れの際は、換気扇の電源を切る (感電やけがの原因になります)

 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 指示に従い必ず行う	●本体の取付けは、十分強度のあるところを選んで確実に 行う (落下によりけがをすることがあります)
	●取付け、お手入れの際は、手袋を着用する (着用しないと端面などでけがをすることがあります)
	●部品の取付けは確実に 行う (落下によりけがをすることがあります)

外形寸法図



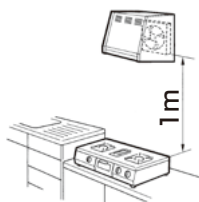
単位 (mm)

■付属部品

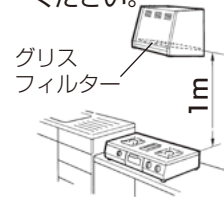
- 木ねじ.....6本
- ワッシャー.....4個
- ダクト接続口.....1個
- ダクト接続口取付ねじ...4本

必ずお守りください

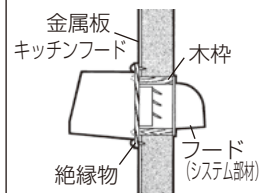
- メタルコンパクト換気扇をご使用の場合は換気扇とレンジの距離を1mとしてください。



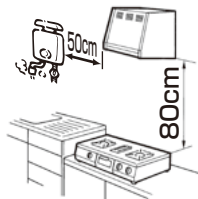
- グリスフィルター（システム部材 P-60GF-M）をご使用の場合はグリスフィルターとレンジの距離を1mとしてください。



- 取付壁面がステンレスなど金属板張りがある場合、絶縁物をはさんで絶縁処理を行ってください。〔電気設備技術基準（電技182条）による〕

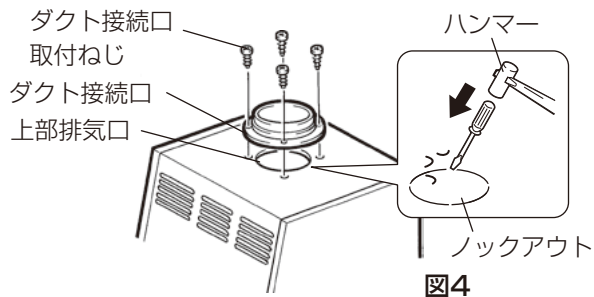
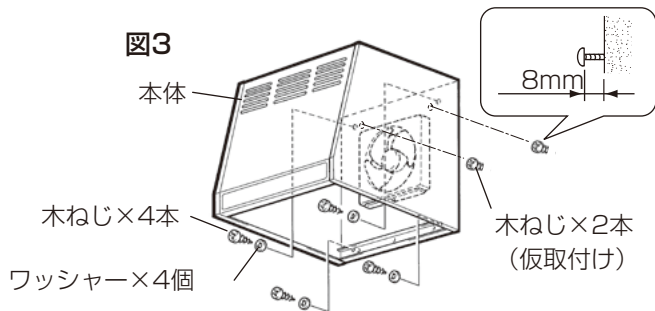
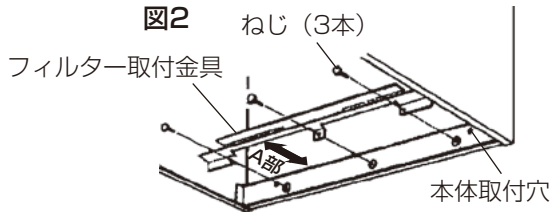
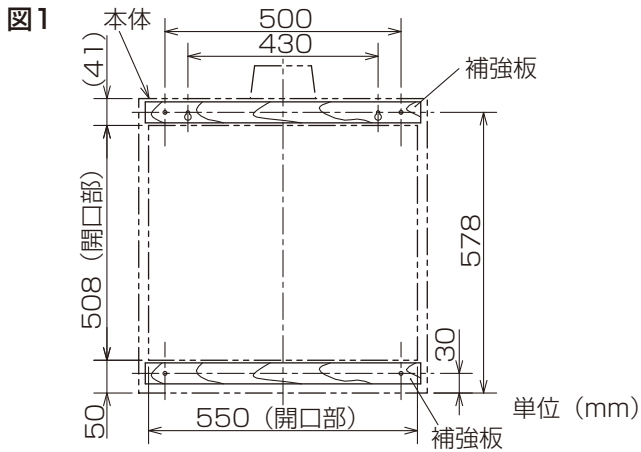


- 屋外取付形ダクトファン・中間取付形ダクトファンをご使用の場合はフード下面とレンジの距離を80cmとしてください。



- ガス湯沸器の真上に取付けないでください。ガス湯沸器とは必ず50cm以上離してください。

据付方法



使用上のお願い

- ガスレンジを使用するときは必ず換気扇を運転してください。
- ガスレンジを空だき状態で長時間使用しないでください。
- 酸・アルカリ・有機溶剤などの薬品がかからないか確認してください。

お手入れ

キッチンフードの清掃は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取ってください。

- 換気扇、グリスフィルターのお手入れはそれぞれの取扱説明書を参照してください。

お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しない。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨材入りの洗剤(変質したり、塗装がはがれる原因となります)

■取付け前の準備

本体を取付ける前にダクトの配管・取付壁の準備をします。

■板張りの場合

- 板厚20mm以上の場合には直接壁に取付ける。20mm以下の場合には20mm以上になるよう補強板を取付ける。

■コンクリート、タイル、土壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込む。

■お願い

- 取付け部には十分強度をもたせてください。
(取付け部が弱いと振動・騒音の原因になります)
- 補強板が壁面より露出するとフードが壁面に密着しません。
- 図1を参照して開口部が取付換気扇の油受けにのり上げないような位置に取付けてください。
(換気扇と本体が接触すると振動・騒音の原因になります)

■本体の取付け

1. フィルター取付金具のねじ(3本)をはずしてフィルター取付金具を取りはずす。(図2)
2. 取付穴位置に付属の木ねじを壁面と水平になるよう図のように8mm残して仮取付けする。(図3)
3. 本体を木ねじに引掛ける。
4. 傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属のワッシャーと木ねじで図のように本体4か所を固定する。
5. 仮取付けした木ねじを締め付ける。
6. フィルター取付金具をねじ(3本)で取付ける。
 - 換気扇の引きひもはフィルター取付金具の矢印(図2のA部)の部分を通してください。
 - グリスフィルター(システム部材 P-60GF-M)の取付方法はグリスフィルターの取付・取扱説明書を参照してください。

■上部排気口を使用する場合

- 接続ダクトはφ150のダクト(鋼板管、スパイラルダクト)をご使用ください。
1. フード上面の丸形ノックアウトをハンマーとマイナスドライバーでつなぎ部分を打ち抜く。(図4)
 2. ダクト接続口取付ねじ(4本)で上部排気口に取付ける。
 3. ダクトを接続する。
 - ダクト接続口にダクトを差し込み、市販のアルミテープで風漏れのないようテーピングをする。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒 508 - 8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。